

2024年6月26日

株式会社三菱UFJ銀行

## 持続可能な航空燃料（SAF）の製造技術を持つ米国 LanzaJet, Inc.への出資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一<sup>はんざわ じゅんいち</sup>、以下 当行）は、今般、航空業界の脱炭素化に必須とされる SAF（Sustainable Aviation Fuel: 持続可能な航空燃料）の効率的な製造技術を持つ米国スタートアップ LanzaJet, Inc.（CEO Jimmy Samartzis、以下 LanzaJet 社）と出資契約を締結いたしました。

LanzaJet 社は、エタノールを原料に触媒反応を通じて SAF を生産する Alcohol to Jet (ATJ) 技術<sup>[1]</sup>を保有し、同技術は高効率で大規模な SAF の生産に向けた優位性があると見込まれております。LanzaJet 社は、現在、米国ジョージア州で世界初となる ATJ 技術を用いた SAF の製造プラントの稼働に向けた取り組みを行っております。

本邦では、2030年に航空燃料使用量の10%を SAF に置き換えるとの政府目標が発表される中、日本国内においても同社の ATJ 技術を活用した国産 SAF の製造プラントの建設が計画されております。当行は LanzaJet 社への出資を通じて、同社の技術を用いた SAF 製造プラントのスケールアップや関連技術ライセンスの展開、原料調達網の構築などの支援を行い、LanzaJet 社の事業機会の拡大とともに、さまざまなステークホルダーとの共創による SAF のバリューチェーン構築をめざしております。

当行はこれまでも SAF のバリューチェーン構築に向けた支援を行っており、2023年5月には国内初となる SAF 製造プラント（愛知県田原市）向けのグリーンローンを組成<sup>[2]</sup>したほか、2024年3月には SAF の原料向けに当行の社員食堂から排出される廃食用油の提供に向けた取り組み<sup>[3]</sup>を行っております。株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループは、「世界が進むチカラになる。」をパーパス（存在意義）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。今回の LanzaJet 社への出資を通じて、当行は航空業界の脱炭素への取り組みをより一層加速させてまいります。

### 【LanzaJet 社の概要】

名称	LanzaJet, Inc.
設立	2018年11月
所在地	520 Lake Cook Road, Suite 680. Deerfield, Illinois, United States
代表者	Jimmy Samartzis
事業内容	ATJ 技術の開発・ライセンスの展開、及び同技術を用いた SAF の製造
URL	<a href="https://www.lanzajet.com/">https://www.lanzajet.com/</a>

[1] 世界最大級の民間規格制定機関である ASTM にて、「ASTM D7566 Annex 5」として航空機への導入に必要な品質規格を取得済み

[2] 2023年5月のグリーンローン組成については、以下をご参照ください。

[https://www.bk.mufg.jp/houjin/info/pdf/revo\\_international\\_seiyaku.pdf](https://www.bk.mufg.jp/houjin/info/pdf/revo_international_seiyaku.pdf)

[3] 2024年3月の当行の社員食堂の廃食用油の提供については、以下をご参照ください。

<https://www.bk.mufg.jp/news/news2024/pdf/news0327.pdf>

以上